

**大阪公立大学都市科学・防災研究センター**  
**先端都市特別研究員（若手）募集要項（2025年度前期採用分）**

大阪公立大学都市科学・防災研究センター（UReC）は、文部科学省より、「先端的都市研究拠点」という名称で、共同利用・共同研究拠点の1つに認定されています。その共同利用・共同研究拠点としての活動の一環として、国際水準の先端的都市研究に取り組む若手研究者の研究活動を支援することを目的として、「先端都市特別研究員（若手）」を採用しています。つきましては、2025年度前期採用分について、下記のとおり募集します。

記

**1. 種目と公募人数**

- A) 有給（給与および研究費を支給）：1名
- B) 研究費のみ支給：若干名

**2. 業務内容および研究費と待遇**

- 1) 先端的都市研究拠点に所属する受入研究者が主宰する「受入研究プロジェクト」と密接に関連した独自研究プロジェクトを遂行します。別表「受入研究プロジェクト・研究者一覧」を参照のうえ申請書類を作成してください。
- 2) 研究期間は採用日（2025年4月1日）から2026年3月31日までです。この期間中に遂行できる研究計画を作成してください。
- 3) 拠点事業の一環として半年ごとに開催される合評会（特別研究員研究発表会）において、研究発表をしていただきます。また、拠点事業に関連した企画及び実施運営にも参画していただきます。
- 4) 研究費を支給します。支給額は、UReCの予算が確定した後、研究計画の査定に基づき決定します。応募の段階では本拠点から受給される研究費の額が200,000円以内に収まるように研究計画を作成してください。
- 5) 研究費は大阪公立大学の経費支出基準に基づき執行されます。
- 6) 研究活動結果報告書および決算報告書を、研究期間終了時に提出していただきます。
- 7) 有給の特別研究員の勤務条件（2025年1月現在）は以下のとおりです。今後、変更される可能性があります。
  - ① 雇用期間：上記研究期間に同じ、契約更新なし
  - ② 勤務日・時間：週3日（土日祝・年末年始を除く）原則9：00～17：15（休憩12：00～12：45）
  - ③ 就業規則上の職名は「特任研究員」となり、以下が適用されます。
  - ④ 給与：時給2,000円（月末締め翌月支給）、年次有給休暇あり
  - ⑤ 手当：通勤手当（1月あたり55,000円上限）、賞与（就業規則に基づく）
  - ⑥ 社会保険等：健康保険・厚生年金保険・雇用保険
- 8) 「特別研究員」という名称は変更される可能性があります。

**3. 応募資格**

**A) 有給（給与および研究費を支給）**

- 1) 博士号取得済みで、任用期間中は本センターでの研究を本務とできる者（他機関における職務専念義務の制約がない者）。
- 2) 「B) 研究費のみ支給」との併願も可能です。

**B) 研究費のみ支給**

次の①～③のいずれかに該当する者。

- ① 博士後期課程（博士課程）に在籍中の者
- ② 博士号を取得するために必要な単位を取得済みでありかつ博士論文を執筆中の者
- ③ 博士号取得済みの者。

※ 旧大阪市立大学都市研究プラザないし当センターで有給の特別研究員を務めた経験がある方は、いずれの区分にも応募することができません。また、博士号取得前に研究費のみが支給される特別研究員を務め、その後、博士号を取得した方は、いずれの区分にも応募することができます。

#### 4. 提出書類

- 1) 申請書
- 2) 受入研究者による承諾書

現在の指導教員による推薦書

※ いずれも所定様式( <https://www.omu.ac.jp/orp/urec/info/topics/entry-71563.html> )を用いること。ご自身が参画する予定の「研究プロジェクト」に対応する「受入研究者」の承諾を事前に得てください。加えて、現在の指導教員による推薦状が必要です。両者が同一の方でもかまいません。

#### 5. 応募方法

- 1) 募集期間：2025年1月22日（水）～2月3日（月）9:00必着
- 2) 郵送または持参による応募：下記送付先宛に提出してください。その際、封書に「都市科学・防災研究センター特別研究員（若手）応募書類在中」と朱書きください。提出された書類は返却致しません。
- 3) 電子メールによる応募：提出書類を PDF ファイルとして、下記メール・アドレス宛に送信して下さい。このとき、件名を「2025年度都市科学・防災研究センター特別研究員（若手）応募書類送付」としてください。

#### 6. 選考方法

都市科学・防災研究センター特別研究員選考委員会が、提出された書類に基づき選考します。書類審査の結果は2月7日（金）までに通知します。

「A）有給（給与および研究費を支給）」を志望のうえ書類審査を通過した方のみ、2月11日（火・休）に原則オンラインで口頭試問を行います。詳細は該当者に別途通知します。オンラインが困難な方は、ご相談ください。口頭試問の結果は2月21日（金）までに通知します。

以上

#### 【問い合わせ・出願書類送付先】

大阪公立大学都市科学・防災研究センター 先端的都市研究拠点事務局

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL：06-6605-2071

E-mail：[urec-joint\\_office@ml.omu.ac.jp](mailto:urec-joint_office@ml.omu.ac.jp)

【別表】先端都市特別研究員（若手）受入研究プロジェクト・受入研究者一覧

No.	研究プロジェクト	受入研究者
1	Transformation in the modern capitalism and cities 現代資本主義と都市の変容	立見淳哉
2	Urban policies, administration and finance in super-aging and depopulating societies 人口減少・超高齢社会における都市政策・都市行財政	阿部昌樹
3	Dialogue between East Asian cities toward recognition to cultural diversity and social inclusion 文化的多様性の承認と社会的包摂に向けた東アジア都市間対話	全泓奎
4	Multi ethnic (cultural) symbiosis society and socially inclusive arts management 多民族（多文化）共生社会と社会包摂型アート&アーツマネジメント	中川眞
5	Clinical musicology research: building a place for dialogue in sound and words with people with and without learning difficulties 臨床音楽学研究：知的障害者を含む音と言葉による対話の場の構築	沼田里衣
6	Invention of a model of support to disabled people aiming at revitalization of multigenerational regional communities 多世代共生型地域再生のための障害者支援モデルの開発	内田敬
7	Revitalization of cities in a resilient way with the utilization of architectural stock: a study of row houses in Osaka and modern architecture 建築ストックの活用によるレジリエントな都市再生—大阪長屋と近代建築を対象に	嘉名光市
8	Disaster resilient communities and housing 災害に対してレジリエントなコミュニティと住宅	生田英輔
9	Division and Conflict: Structure of Discrimination 分断とコンフリクト—差別の構造	野村恭代